

避難所の

土砂災害危険箇所図 及び浸水情報マップ

所在地



がけ崩れ危険箇所



土砂災害等危険箇所の内容は、平成11年度から兵庫県が実施した見直し調査の結果に基づき、掲載したものです。
阪神・淡路大震災を契機として、土砂災害対策の重要性が再確認されていることから、梅雨時期や台風時期を控え、危険箇所を知っていただき、土砂災害から皆さんの生命や財産を守っていただくという趣旨で公表するものです。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

土砂災害危険箇所についてのお問い合わせは

- ▲土砂災害危険箇所については 国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所 ☎078(851)0535
- がけ崩れ危険箇所については 兵庫県阪神南県民局県土整備部 西宮土木事務所 ☎0798(23)7788
- 山地災害危険地区については 兵庫県六甲治山事務所 ☎078(361)8574

土石流危険渓流	
がけ崩れ危険箇所	
山地災害危険地区	
避難所	
土石流サイレン	
防災倉庫	
飲料消火兼用貯水槽	

平成元年9月14日豪雨浸水区域	
芦屋川区域	
宮川区域	
大阪湾区域	
合流区域	
夙川区域	
傍示川・津知川 森深江区域	
下水道整備済路線	
下水道整備予定路線	

消防署・出張所	
下水処理場	
ポンプ場	

この浸水着色区域は、最近もっとも強かった平成元年9月14日豪雨(102.6ミリ/時間換算)で、道路冠水を除いた床下浸水以上の浸水があった街区を着色したものです。
雨水整備は、道路冠水解消についても実施しております。

人と自然にやさしい 雨水対策



雨の降り方に注意しましょう。

集中豪雨などによる浸水被害に備えるため、テレビやラジオの気象情報に注意しましょう。
また、開口部と底部の面積が同じ容器を雨の降り始めから外に置いておけば、その深さのミリ数が降雨量の目安になります。
特に、1時間に46.6ミリ以上の大雨の場合には、浸水に対する十分な警戒が必要です。

時間雨量の目安	降雨の状況
8～15mm未満(やや強い雨)	雨の降る音が聞こえる
15～20mm未満(強い雨)	地面一面に水たまりができる 雨の音で話が良く聞き取れない 寝ている人の半数ぐらいが気づく
20～30mm未満(激しい雨)	どしゃ降りになり傘をさしても濡れる
30～50mm未満(非常に激しい雨)	バケツをひっくり返したように降る
50mm以上(猛烈な雨)	滝のように降る

0 500m 1km
地図上の1センチは100メートル